

令和3年度事業計画

1. 会議の開催

- ① 理事会2回、評議員会1回以上開催する。

2. 機関誌の発行

- ① 「書学」(不定期)、「不二(一般・中高・上級・初級)」、「ぺんの力」計6誌を継続発行する。更に今後も伝統書道の普及を目指し、より一層の内容の充実を図る。

3. 月例競書審査会

- ① 会員から提出された清書により、月例審査会に於いて段級位の認定を行う。
- ② 審査及び事務処理体制の充実を図る。
- ③ 全国的な連帯を図るべく、各地の優秀教場・教室長を地方審査員として迎える。

4. 昇格・昇段試験

- ① 第1回6月、第2回9月、第3回12月、第4回3月に実施する。
- ② 「一般版」、「ぺんの力」において会友試験を年1回11月に実施する。なお、一般版部門については各段級位に正・準の2階級制度を実施し、「会友」資格への実力向上を図る。

5. 会員登録

- ① 公認段級位制、厳正な管理の一環として、引き続き一般版・ぺんの力・中高版・上級版においてバーコードによる段級管理を実施し、段級の厳格化および発表の正確性、月例審査の効率化を図る。
- ② インターネットによる段級位の発表を毎月実施し、国内・海外の会員等に対し、学習のサポート体制の強化を図る。
- ③ 会員に対するサービスの迅速化を図るため、会誌・書学院・通信教育の会員データを統合した会員システムを構築する。

6. 書学院

- ① 神田・大阪・川奈・九州の各書学院で新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら継続開校する。神田・大阪書学院では年3期制(4月・9月・2022年1月開講)とし、2年間で師範取得を目指す。川奈・九州書学院では、年2期生とし、3年間で師範取得を目指す。
- ② 老朽化している書学院システムを「桐」から「Salesforce」に移行刷新する。
- ③ より多くの方々に訴求できるよう書学院のホームページを刷新する。

7. 全国優秀教場・教室長表彰の開催

- ① 不二誌を通して指導を行っている全国の教場長、教室長を対象に表彰並びに会議を実施する。

8. 資格及び実力の認定

- ① 師範・司教・助教の資格認定、上級・中級・初級の実力認定、および公認段級制度による段級の認定を行う。

9. 全国書道検定試験およびペン硬筆検定試験の実施

- ① 第 61 回全国書道検定試験・第 41 回全国ペン硬筆検定試験の実施
5 月 22 日（土）～6 月 7 日（月）、10 月 16 日（土）～11 月 2 日（火）に行い、実地試験は 5 月 23 日（日）に神田書学院（東京都）に於いて実施する。
司教以下の試験は自宅試験として実施する。
- ② 第 90 回級位認定書道検定試験・第 80 回級位認定ペン硬筆検定試験の実施
5 月 22 日（土）～6 月 7 日（月）、10 月 16 日（土）～11 月 2 日（火）に自宅試験として実施する。

10. 写経塔・筆塚供養祭の開催

- ① 写経塔・筆塚供養祭の開催。
供養祭を 10 月 3 日（日）に東洋文化不二研修所に於いて実施する。

11. 新和様・漢字造型書作家協会

- ① 漢字かな交じり書「新和様」及び「漢字造型」の研究普及活動を推進し、展覧会・講習会等を開催する。
- ② 第 27 回 新和様・漢字造型書作家協会 選抜展
会 期：7 月 20 日（火）～7 月 25 日（日）
会 場：東京芸術劇場
- ③ 第 33 回 新和様・漢字造型書作家協会色紙展の開催
会 期：8 月 27 日（金）～8 月 29 日（日）
会 場：神田書学院
- ④ 講習会の開催
- ⑤ 会報・研究誌の発刊

1 2. 第 43 回全国公募千字文大会

- ① 学校法人扶桑学園 日本書道藝術専門学校と共催し、日本書道藝術専門学校と東洋文化不二研修所に於いて開催する。
- ② 会 期：9 月 25 日（土）～9 月 27 日（月）
- ③ 授賞式：9 月 26 日（日）
- ④ 会 場：日本書道藝術専門学校、東洋文化不二研修所
- ⑤ 優秀作品には文部科学大臣賞、静岡県知事賞他を贈る。

1 3. 第 13 回「漢字造型」と「傳統の寫經」展

- ① 会 期：9 月 21 日（火）～9 月 26 日（日）
- ② 会 場：東京鳩居堂画廊

1 4. 第 71 回書道學會展

- ① 会 期：令和 4 年 1 月 4 日（火）～1 月 10 日（月）
- ② 会 場：東京都美術館（第一会場）、東京芸術劇場（第二会場）
- ③ 役員の優秀作品には内閣総理大臣賞他、公募の優秀作品には文部科学大臣賞他を贈る。

1 5. 第 71 回全日本学生書道展

- ① 会 期：令和 4 年 1 月 4 日（火）～1 月 10 日（月）
- ② 会 場：東京都美術館
- ③ 優秀作品には文部科学大臣賞他を贈る。

1 6. 令和 4 年書初不二誌上展

- ① 不二各誌およびぺんの力の 3 月号にて、成績ならびに特選作品を掲載する。

1 7. 第 35 回不二現代書展

- ① 会 期：令和 4 年 3 月 16 日（水）～ 3 月 21 日（月）
- ② 会 場：大阪市立美術館
- ③ 役員の優秀作品には新和様・漢字造型書作家協会賞、公募の優秀作品には文部科学大臣賞、大阪府知事賞他を贈る。

18. 文部科学省認定社会通信教育

- ① 「書道基礎科講座」、「書道専攻科講座」、「ペン習字教育講座」「ペン習字基礎講座」、「篆刻入門講座」の5講座を継続実施する。
- ② 別に併設講座として「速習ペン字講座」「写経入門講座」を継続実施する。
- ③ 書道・ペン既存講座の教材の改訂を順次行う。通信教育講座の受講料は、教材改訂後順次見直しを行う。
- ④ 老朽化している通信教育受講管理システムを「桐」から「Salesforce」に移行刷新する。

19. 伊豆川奈東洋文化不二研修所

- ① 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から状況を注視し、運営する。資料館に於いて書道名蹟を展示し、書道大研修室、視聴覚室、写経道場、坐禅道場、茶室等の場を供し、恵まれた環境の中で書道研修を行い、心身共に調和した学書者を養成する。引き続き、書道名蹟、文房四宝、蔵書の整理も行う。

20. 後援・講習会

- ① 全国書学院に於いて写経実践会・書塾指導者講習会などの講座を実施する。
- ② 全国不二教場・教室主催の書道展・講習会に後援協力する。

21. 書道教育推進事業

- ① 平成18年度より内閣総理大臣の認定を受け、「書道教育特区」として実施されていた「書道」授業を引き続き東京都新宿区の1校において実施し、伊東市内の全小学校9校、静岡県長泉町の小学校3校、さらには静岡県裾野市の小学校1校で、日本書道藝術専門学校の主導のもと、本会の書道師範免許取得者の派遣を継続し、全国各地に「書道」授業導入の支援を行う。

22. インターネットの活用

- ① 会員の利便性を高めるため、段級検索機能や納経巻数検索機能の他、会員からの声や活字課題、優秀作品、展覧会案内、受賞作品の掲載など、より多くの情報を提供していく。
- ② 新型コロナウイルスの感染状況により展覧会が中止となった場合、展示作品をホームページにおいて紹介する。

23. 書画・書籍の修復・維持

- ① 長期的な視点に立って、石橋犀水の作品の整理、作品の状態の把握、作品の保管環境の改善を図り、また、不二研修所内の作品、書籍の整理及び保管を行う。

以上